

2006年5月15日

各 位

新日鉱ホールディングス株式会社

新日鉱グループ創業 100 周年記念映像『大煙突への旅』が
ドイツの国際産業映像祭において金賞を受賞

新日鉱グループ創業 100 周年記念事業の一環として制作した映像『大煙突への旅』が、このたび、ドイツの国際産業映像祭「ワールドメディアフェスティバル」(World Media Festival 2006)において、金賞を受賞しました。この受賞は、映像の芸術・技術性のみならず、その内容において、大煙突の建設をはじめ、日立鉱山と地域住民が共存共栄を目指して煙害問題克服と自然環境回復に長年取り組んだ歴史や企業姿勢を、分りやすく映像化したことが、国際的にも高く評価されたものです。

「ワールドメディアフェスティバル」は、ドイツのハンブルクに本部を置く映像配給会社インターメディア社によって 2000 年から開始された国際産業映像祭です。今回は、世界 26 ヶ国から、約 400 作品のエントリーがあり、芸術・技術面およびメッセージ面の両面から審査が行われ、カテゴリーごとに金賞と銀賞が選出されます。今回、『大煙突への旅』は“パブリックリレーション環境部門(Public Relations : Environment-Conservation-Recycling)”で金賞(Gold Award)を受賞したものです。受賞式は、5月10日にドイツのハンブルグにおいて開催されました。

なお、本映像『大煙突への旅』は、新日鉱グループの企業博物館である日鉱記念館(茨城県日立市宮田町3585、詳細は <http://www.shinnikko-hd.co.jp/museum/> 参照)にてご覧いただけますとともに、本受賞を記念して、当社ホームページ上でも、本日から8月末までの間、映像配信を実施します(<http://www.shinnikko-hd.co.jp/library/>)。

以上

お問い合わせ： 新日鉱ホールディングス株式会社
I R ・ 広報担当 横小路・高元・花島

03-5573-5124

【ご参考】

1. 受賞作品概要

(1) 題 名 : 大煙突への旅 (英題: The Untraveled Path to the Giant Stack)

(2) 映像時間 : 約 19 分

(3) ストーリー :

一人の男の子が日立の山の頂上で、緑豊かな山の中にそびえる大きな煙突に出会い、そこから大煙突にまつわる歴史の旅が始まります。

今から約 100 年前、日立鉱山 (茨城県) では、金属鉱山の宿命的課題ともいえるべき煙害問題が深刻化しました。日立鉱山は、地域住民と共に苦しみ悩み、また誠意をもって煙害問題の克服に取り組みました。幾多の試行錯誤の末、当時の常識を覆す世界一高い大煙突を建設、煙害は激減しました。そして、1,000 万本を超える大島桜などの植林により、山々に緑が戻りました。こうした、地域住民とともに共存共栄を目指して、煙害問題克服と自然環境回復に挑んだ大煙突にまつわる歴史を、現在の映像や当時の写真などとともに振り返ります。

(4) 制 作 : 株式会社イメージサイエンス

【 “大煙突への旅” 映像 】



2. 映像祭概要

(1) 名 称 : 「ワールドメディアフェスティバル (World Media Festival)」

(2) 開催場所 : ドイツ ハンブルグ

(3) 受賞カテゴリー :

メインカテゴリーの中に定められた複数のサブカテゴリーごとに受賞作品を選出

(4) 参加作品 : 400 作品

(5) ホームページ : <http://www.worldmediafestival.org/>

3. ワールドメディアフェスティバル金賞盾

